

令和元年度企画展

# しきものまなざし

きくちさき  
菊池咲展



利根山光人

記念美術館

Toneyama Kojin  
Memorial Art Museum

2012年 第5回利根山光人記念大賞展トリエンナーレ・きたかみ大賞 受賞

2019年  
8月31日(土) - 11月30日(土)

●開館時間 10:00-16:00 (入館は15:30まで)

●休館日 12/1-3/31 (4-11月は無休)

※8月30日(金)は展示作品入替えの為休館

●入館料

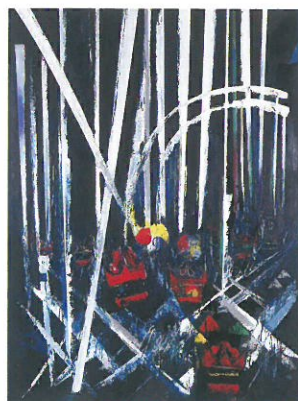
区分	個人	団体 <small>※団体は20名以上</small>	共通観覧券
小中学生	60円	40円	200円
高校生	120円	80円	300円
一般	300円	180円	700円

※定住自立圏内(奥州市・北上市・金ヶ崎町・西和賀町)に居住する小学生又は中学生は無料

※北上市消防団(同行者5人以内を含む)は無料(消防団員カードをご提示ください。)

●主催

北上市 北上市教育委員会



常設展

東北の祭り  
シリーズと  
メキシコの民芸



着ぐるみ系 (2012年)

# いきもののまなざし

## 菊池咲展

「10年ほど動物を描いています。人間以外の動物に近づきたくて描いているのだと思います。地球上に存在する対等な関係として。

私たち人間が動物という言葉を使うとき、その言葉の前には『人間以外の』という言葉が省略されているように思います。私たち人間は、人間も動物の一員と自覚しながら、人間だけは他の動物と違い、特別な存在であると思っているのではないのでしょうか。

人間とそれ以外の動物。可愛いとか可愛くないとか、害獣だとか、絶滅危惧種だとか。人間が勝手に決めた、そういう枠にとられない対等な存在として動物たちを捉え、描いてきたつもりです。擬人化ではなく、私が人間以外の動物に近づきたい。

現代は人も物も使い捨て。大切にしないことや循環しないことにつらい気持ちになります。人だけが、生き物として大事な何かを忘れていくような、生き物からかけ離れていくような、そんな気持ちになることがよくあります。他の動物のことを考えることは、人が豊かに生きていくことにつながらないのでしょうか。人間だけは特別な存在であるという驕りを捨てて、人が生き物らしく生き、人以外の生き物や自然と共存できることを願っています。」（菊池咲）



声



非凡な種の複雑な本質



見られている

大賞を受賞した当時、菊池咲氏は20代半ばという若さ。

主に動物をテーマとして県内外で精力的に作品を発表し、高い評価を受けている実力者である。日本画材料の素朴でしなやかな形態のとりえ方も魅力であるが、対象となる「生き物」を見つめる姿勢が真摯で深い。

本企画展では大賞受賞作と共に、氏のここ10年の「生き物」をテーマとした制作の歩みを紹介する。愛くるしい動物たちに囲まれ、多くの若い感性にも新鮮な刺激と感動を与えられればと思う。（専任研究員）

### 菊池咲（きくちさき）

1986年 奥州市生まれ  
2012年 東北芸術工科大学大学院修了

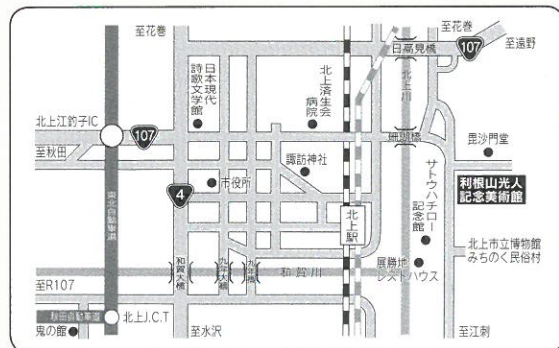
#### 活動歴

- 2008年 第61回岩手芸術祭日本画部門芸術祭賞（岩手県民会館）
- 2011年 '70、'80年代生まれの美術家たち、IMA（いま）ここで（岩手県立美術館）
- 2012年 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2012「里山アート動物園」（まつだい農舞台／新潟）
- 2012年 第5回利根山光人記念大賞展 トリエンナーレ・きたかみ 大賞
- 2014年 岩手県美術選奨
- 2015年 アートフェスタいわて2014・岩手県美術選奨受賞者作品展（岩手県立美術館）他多数

### 北上市立 利根山光人記念美術館

岩手県北上市立花15-153-2 TEL・FAX 0197-65-1808

交通の ●タクシー JR北上駅東口乗車2.5km 7分  
ご案内 ●徒歩 JR北上駅東口より25分



北上市